

文化ホールの現状と課題等について

令和7年11月13日（木）

目 次

- 0 1 本調査について
 - └ 1 目的
 - └ 2 市内中心部における施設の配置状況
 - └ 3 調査概要
- 0 2 市内施設の概況
 - └ 1 各施設の概要
 - └ 2 利用状況について
- 0 3 政令指定都市との比較
 - └ 1 ホール数について
 - └ 2 ホール規模について
 - └ 3 稼働率について
 - └ 4 利用状況について
 - └ 5 リニューアル状況について
- 0 4 広島県内での比較
 - └ 1 施設の規模及びその配置状況について
 - └ 2 稼働率について
 - └ 3 利用状況について
 - └ 4 リニューアル状況について
- 0 5 文化ホール調査まとめ

広島市文化交流会館及び広島市文化創造センター（JMSアステールプラザ）の大規模ホール（以下「文化ホール」という。）は、音楽や舞台芸術を始めとした文化芸術に関する市民の鑑賞の場となっているなか、いずれも竣工から30年以上が経過し、施設及び設備の老朽化が進んでいることに加え、天井部分が特定天井に該当し、その安全対策の実施が急務となっている。また、両施設は道路を挟んで位置していることに加え、徒歩圏内に広島国際会議場もあるなど、本市所有の文化ホールが集中している状況にある。

こうした状況の下、文化ホールの更新に当たっては、「広島市公共施設等総合管理計画」における基本指針に基づき、本市のまちづくり等との整合性を図りつつ、利用者の利便性等も踏まえながら施設の再配置を検討する必要があることから、他の政令指定都市や近隣市町の施設も含めた施設の概要や利用状況等の現況把握のための調査を実施した。



広島市文化交流会館



広島市文化創造センター
（JMSアステールプラザ）

市内中心部における音楽芸術等にも利用されている施設は下図のとおり。



施設名称	設置者	主な用途
広島市文化交流会館 (広島文化学園HBGホール)	市	文化芸術
広島市文化創造センター (アステールプラザ大ホール)	市	文化芸術
広島県立文化芸術ホール (上野学園ホール)	県	文化芸術
広島国際会議場 (フェニックスホール)	市	会議・コンベンション
広島サンプラザ (サンプラザホール)	市	スポーツ
広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ)	県	スポーツ

- いずれの施設も電車・バスなど交通利便性の高い場所に設置されている。

■ 調査期間

令和7年8月7日（木）～9月30日（火）

■ 調査対象

本市内の6施設に加え、公立の1,000席以上のホールを有する施設

本市内の施設	広島県内の施設	政令指定都市の施設
広島市文化交流会館（広島文化学園HBGホール） 広島市文化創造センター（アステールプラザ大ホール） 広島県立文化芸術ホール（上野学園ホール） 広島国際会議場（フェニックスホール） 広島サンプラザ（サンプラザホール） 広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）	呉市文化ホール（呉信用金庫ホール） 三原市芸術文化センター（ポポロ・ホール） 三次市民ホール（きりり） 東広島芸術文化ホール（くらら） はつかいち文化ホール（ウッドワンさくらびあ） ふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ）	19都市 51施設（56ホール）

■ 調査方法

メール送付によるアンケート調査

■ 調査内容

以下の項目について調査した。

- ①運営方法 ②施設概要 ③施設の稼働率 ④専用駐車場 ⑤施設建替え・大規模改修の状況
 ⑥事業内容（利用状況を含む。） ⑦職員数 ⑧施設の運営費

広島市文化交流会館（広島文化学園HBGホール）



建設時期	1985年8月
開館時期	1985年10月
築年数	40年
所在地	広島市中区加古町
客席数	2,001席
複合機能	宿泊、カフェ・レストラン等
構造	SRC構造
敷地面積	11,668㎡
延床面積	18,824㎡
管理運営	広島アートウィンド運営企業体

概要

広島市文化交流会館は、文化に関する鑑賞、活動等の場を提供することにより、市民文化の向上及び交流の促進を図るため、広島市が設置している施設であり、広島文化学園HBGホールを始め、宿泊施設や会議室などを併設している。広島文化学園HBGホールは扇形プロセニウム型の本格的な劇場空間となっており、市内最大規模の多目的ホールとしてクラシック音楽、オペラ、バレエ、演劇、ポップスライブなど幅広いジャンルに対応可能なホールである。

広島市文化創造センター（アステールプラザ 大ホール）

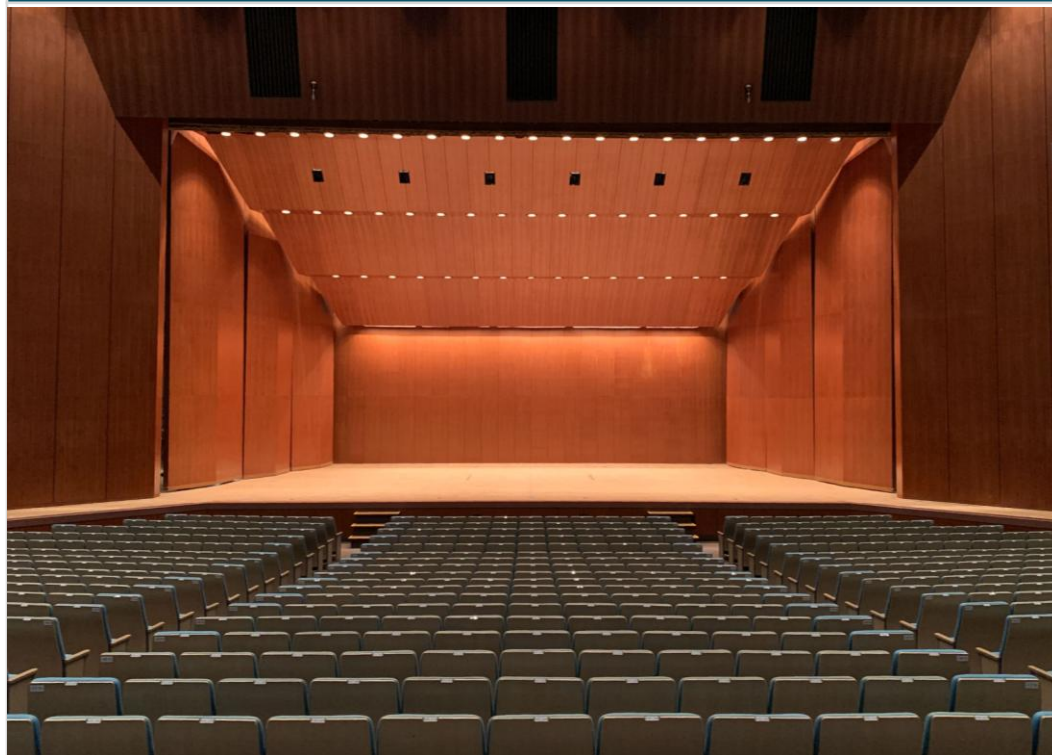


建設時期	1990年11月
開館時期	1991年1月
築年数	35年
所在地	広島市中区加古町
客席数	1,204席
複合機能	中区民文化センター、ギャラリー等
構造	S／RC／SRC構造
敷地面積	12,852㎡
延床面積	27,985㎡
管理運営	公益財団法人広島市文化財団

概要

広島市文化創造センター（JMSアステールプラザ）は、本市における文化活動の振興及び交流を図り、もって本市の文化の創造に寄与するため、広島市が設置している施設であり、大ホールやスタジオ、音楽室などを備えている。多目的ホールである大ホールは演奏会、演劇、講演会など幅広い文化活動に対応可能である。また、同施設に併設されている広島市中区民文化センターは、中ホールや会議室を通じて地域住民の文化活動を支援しており、両施設は一体的に運営されている。

広島県立文化芸術ホール（上野学園ホール）



建設時期	1972年9月
開館時期	1972年10月
築年数	53年
所在地	広島市中区白鳥北町
客席数	1,861席
複合機能	カフェ・レストラン等
構造	S/SRC構造
敷地面積	6,611㎡
延床面積	9,301㎡
管理運営	RCCホールマネジメントグループ

概要

広島県立文化芸術ホールは、優れた音楽、演劇、舞踊その他の文化芸術を鑑賞する機会を設けるとともに、創作、発表など県民自らの文化芸術活動を行う場を提供することにより、広く文化芸術の振興を図り、もって県民生活の向上に資するため、広島県が設置している施設であり、ホール以外にもリハーサル室や会議室、和室、スタジオなどを備えている。ホールは多目的ホールで、演奏会、演劇、講演会など幅広い文化活動に対応可能である。天井や壁に木材を使用しており、音響に優れ、演奏家からも評価が高い。

広島国際会議場（フェニックスホール）



建設時期	1989年3月
開館時期	1989年7月
築年数	36年
所在地	広島市中区中島町
客席数	1,504席
複合機能	カフェ・レストラン、ギャラリー等
構造	SRC構造
敷地面積	115,932㎡
延床面積	24,649㎡
管理運営	公益財団法人広島平和文化センター

概要

広島国際会議場は、平和記念公園内に位置し、本市における国際交流の推進及び市民の文化の向上を図るため、広島市が設置している施設であり、フェニックスホールを始め、大小の会議室や展示スペースを備えている。フェニックスホールはシューボックス型の多目的ホールで、音響・照明・映像設備が充実している。6か国語対応の同時通訳設備や残響可変装置を備えており、会議・コンベンションからコンサートまで幅広く対応可能な施設である。

広島サンプラザ（サンプラザホール）

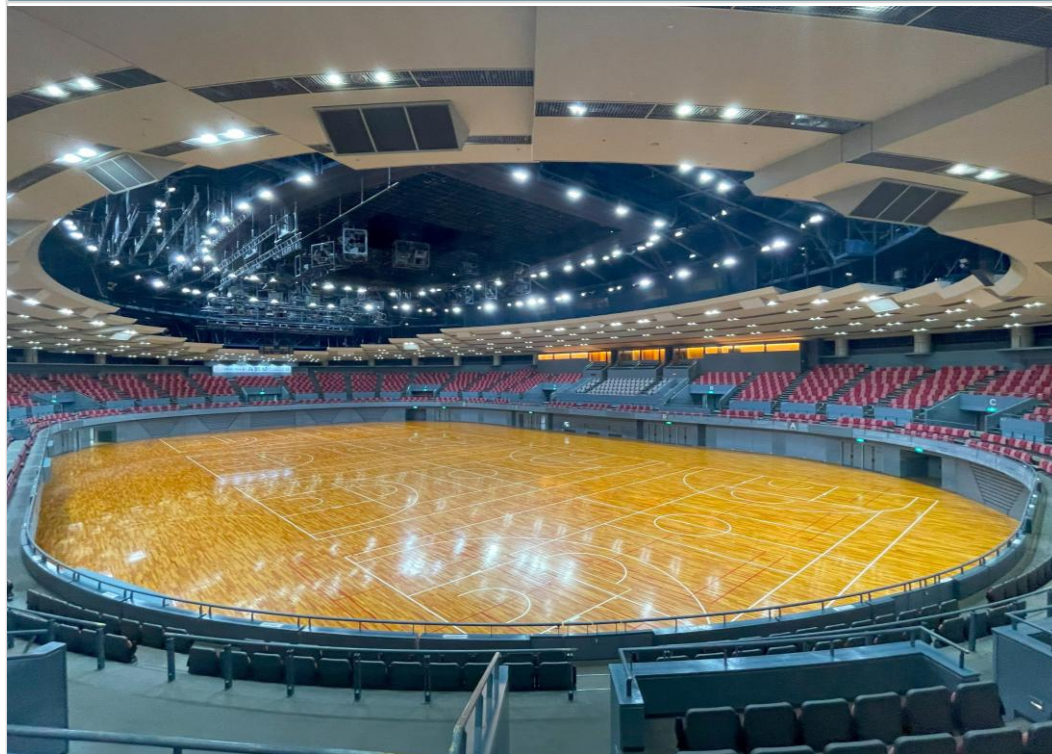


建設時期	1985年9月
開館時期	1985年9月
築年数	40年
所在地	広島市西区商工センター
最大収容人数	約6,000人
複合機能	体育館、カフェ・レストラン等
構造	RC／SRC構造
敷地面積	12,567㎡
延床面積	19,624㎡
管理運営	公益財団法人広島市文化財団

概要

広島サンプラザは、勤労者の職業及び福祉に関する事業を総合的に行い、もって勤労者の福祉の向上に寄与するため、広島市が設置している施設である。広島サンプラザは、教養、文化、スポーツ等の活動の場を提供するとともに、会議・研修、宴会、婚礼等の場も提供している。サンプラザホールはプロバスケットを始めスポーツイベントに多く利用されているほか、コンサートや会議・コンベンションなど幅広く利用されている。

広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）

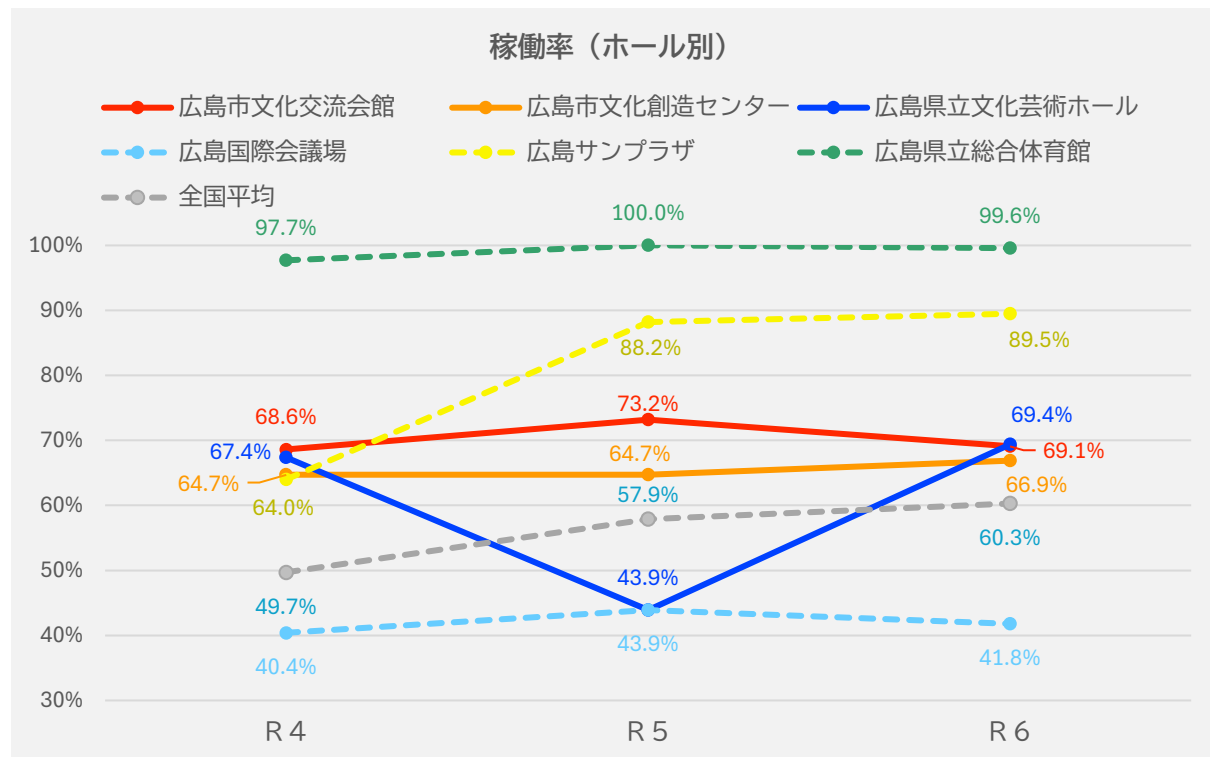


建設時期	1993年11月
開館時期	1994年2月
築年数	32年
所在地	広島市中区基町
最大収容人数	約10,000人
複合機能	なし
構造	S／RC／SRC構造
敷地面積	30,865㎡
延床面積	50,079㎡
管理運営	公益財団法人広島県教育事業団

概要

広島県立総合体育館は、体育その他一般の利用に供するため、広島県が設置しているスポーツ施設であり、最大約1万人を収容できる中四国最大規模の広島グリーンアリーナを始め、小アリーナ、武道場、弓道場や屋内プール、トレーニングルームなどを備えている。広島グリーンアリーナでは、スポーツ大会での利用が多く、そのほかコンサートなどにも利用されている。

(1) 市内中心部の施設におけるホールの稼働率



※稼働率は日数単位での算出としている

市内中心部の施設におけるホールの稼働率の状況を整理

- 文化ホールの稼働率について、広島県立文化芸術ホールは令和5年度に改修工事の影響により落ち込んだものの、全体として概ね60～70%の範囲で推移しており、全国平均と比べて高い。
- 主に会議・コンベンションで利用されている広島国際会議場は他の施設と比べて稼働率が低くなっている。また、主にスポーツで利用されている広島サンプラザ及び広島県立総合体育館は高い稼働率となっている。

各文化ホールの平均稼働率（3か年）

広島市文化交流会館	70.3%
広島市文化創造センター	65.4%
広島県立文化芸術ホール	60.2%

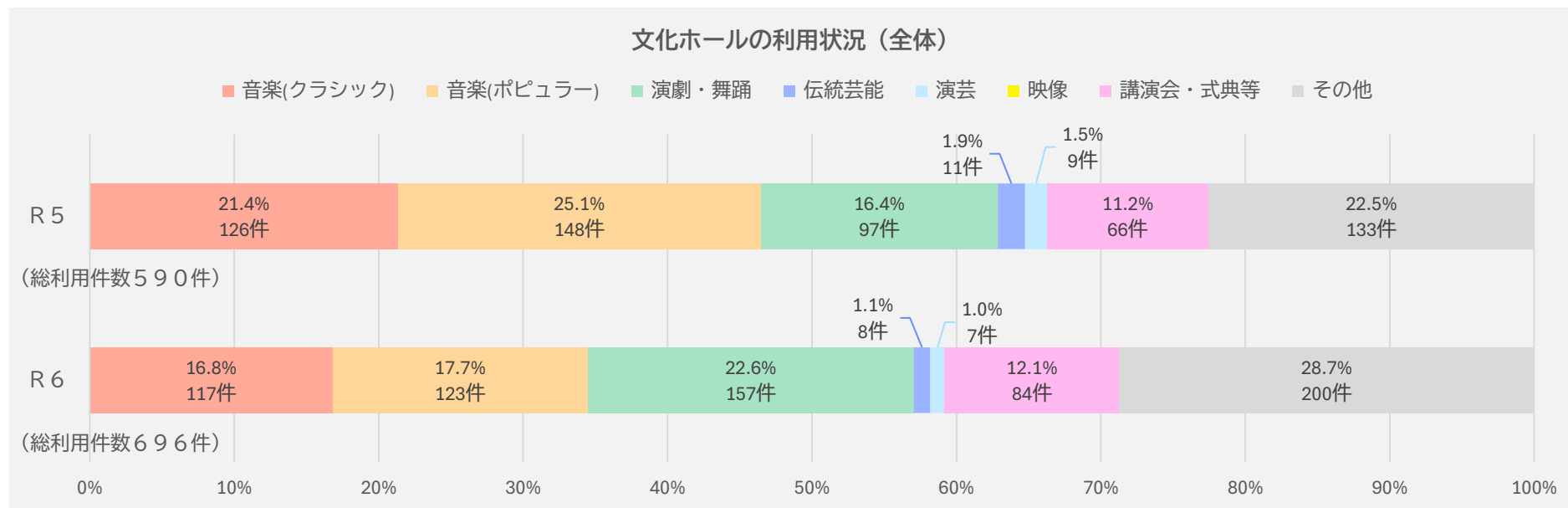
文化ホール平均稼働率（3か年）

65.3%

その他ホールの平均稼働率（3か年）

広島国際会議場	42.0%
広島サンプラザ	80.6%
広島県立総合体育館	99.1%

(2) 市内中心部における文化ホールの利用状況（全体）



※音楽（クラシック）：オーケストラ、オペラ、吹奏楽・合唱など

※伝統芸能：能楽・狂言、歌舞伎、邦楽など

※講演会・式典等：講演会、記念式典、集会など

※音楽（ポピュラー）：ジャズ、ポピュラー音楽など

※演芸：落語、漫才、奇術など

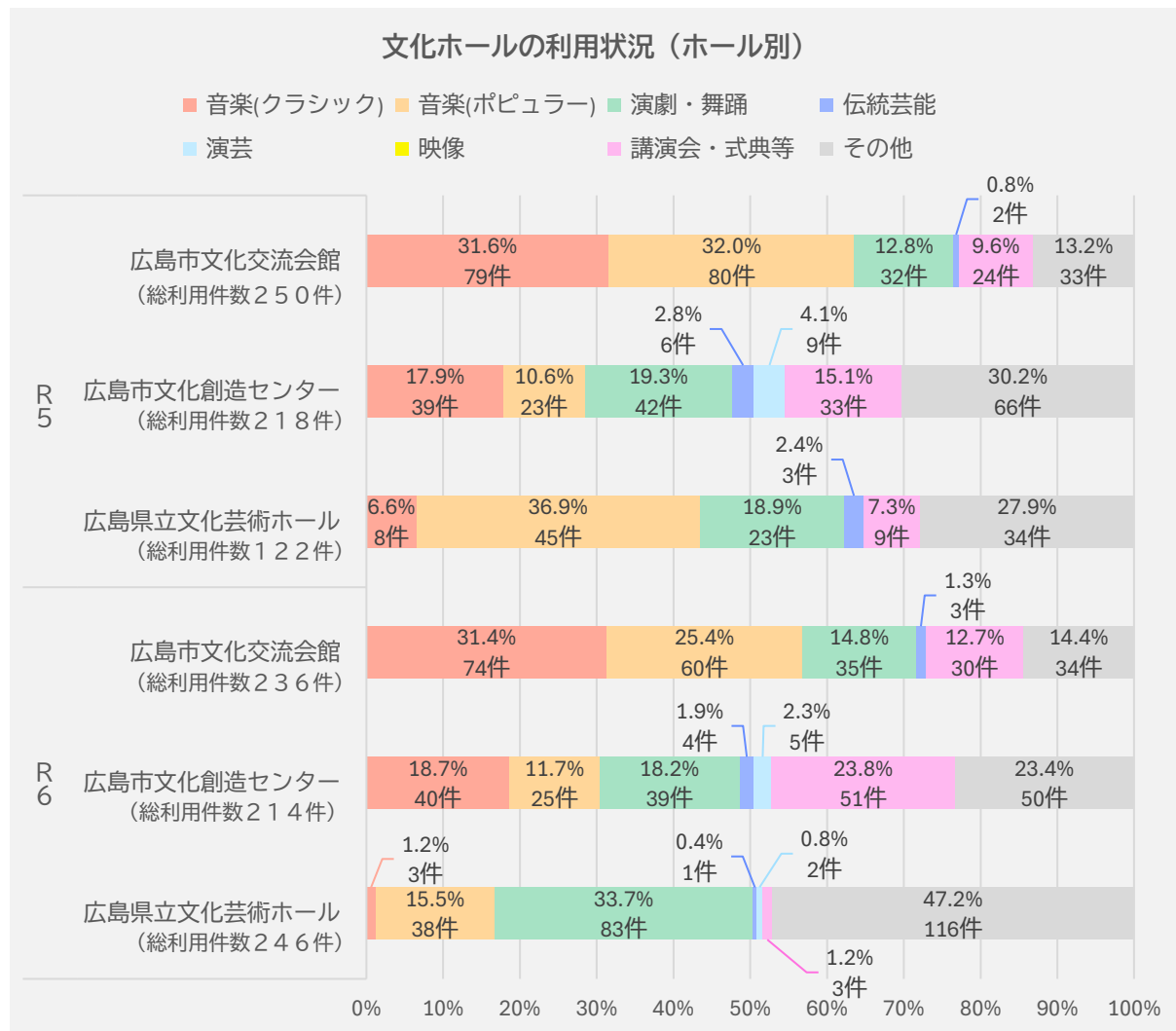
※演劇・舞踊：演劇、ミュージカル、バレエ、現代舞踊など

※映像：映画上映会、ライブ中継など

市内中心部における文化ホール（広島市文化交流会館、広島市文化創造センター、広島県立文化芸術ホール）の利用状況を整理

- 総利用件数については、広島県立文化芸術ホールで令和5年度に改修工事を行ったことにより、令和5年度から令和6年度にかけて約100件増加している。
- 文化ホールにおける利用は、令和5年度については音楽（ポピュラー）、音楽（クラシック）、演劇・舞踊の順に、令和6年度については演劇・舞踊、音楽（ポピュラー）、音楽（クラシック）の順に割合が高い。演劇・舞踊については、ミュージカルの長期公演の影響で令和6年度の件数が大幅に増加している。
- その他の主な内訳は、学校の部活動やサークル活動といった練習利用やミュージカルの舞台設営が占めている。

(3) 市内中心部における文化ホールの利用状況（ホール別）



市内中心部における文化ホール（広島市文化交流会館、広島市文化創造センター、広島県立文化芸術ホール）の利用状況を整理

広島市文化交流会館

クラシックやポピュラーを含め音楽利用の割合が最も高く、演劇・舞踊、講演会・式典等で全体の約9割を占めている。

広島市文化創造センター

広島市文化交流会館と比べて音楽利用の割合は高くないものの、演劇・舞踊や講演会・式典等の割合が高い。

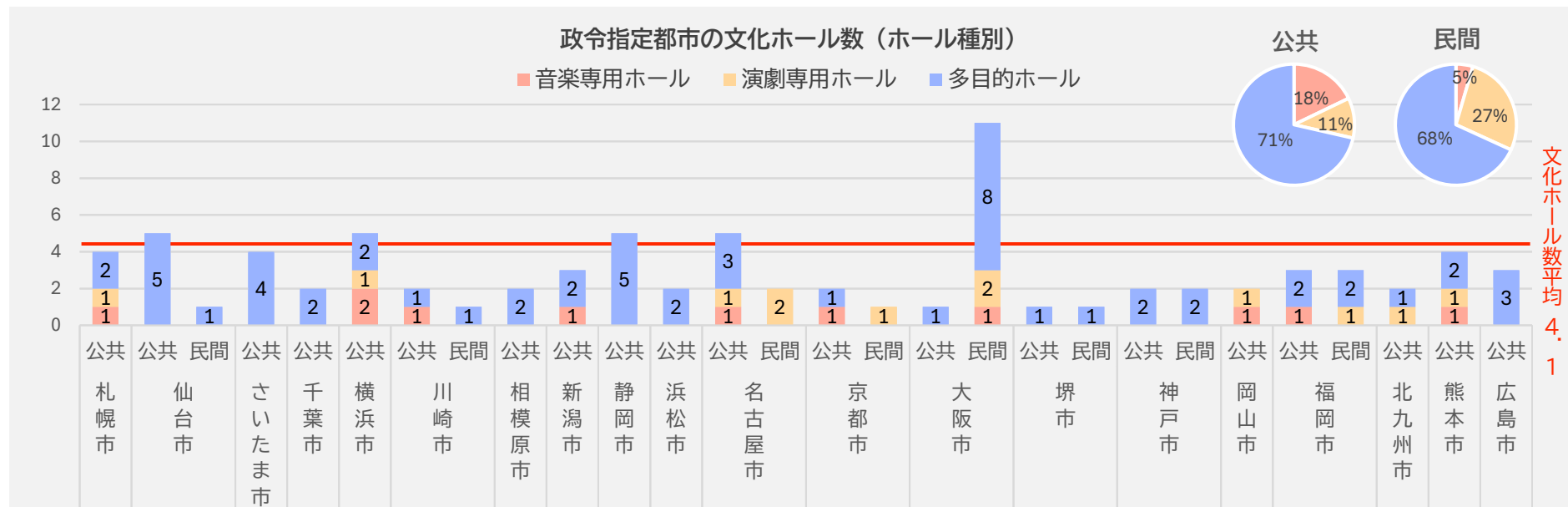
広島県立文化芸術ホール

令和6年度はその他で整理されている舞台設営を含めると、演劇・舞踊の割合が非常に高い。

03 政令指定都市との比較

1. ホール数について

政令指定都市の文化ホールの数



※文化ホール数平均に本市は含まない
 ※民間ホールは2024ライブ・エンタテインメント白書より集計

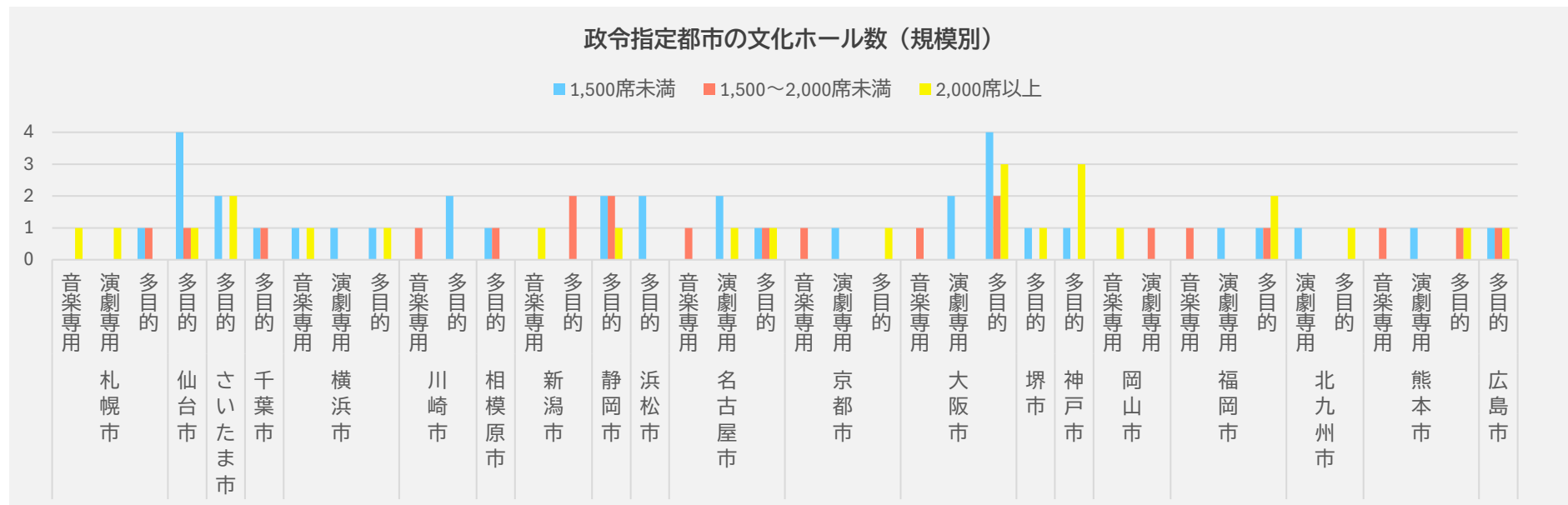
ホール種別	公共	民間	計
音楽専用ホール	10	1	11
演劇専用ホール	6	6	12
多目的ホール	40	15	55
計	56	22	78
1都市あたりの平均ホール数	2.9	1.2	4.1
札幌・仙台・福岡の平均ホール数	4.0	1.3	5.3

※上表に本市は含まない

本市を含む政令指定都市における1,000席以上の文化ホール（公共・民間）の数を整理

- 本市の文化ホールの数（3）は、政令指定都市の平均（4.1）を下回っている。また、同じ地方中枢都市である札幌市（4）、仙台市（6）及び福岡市（6）と比べても少ない状況にある。
- 本市は多目的ホールのみ設置しているが、地方中枢都市である札幌市、福岡市では音楽や演劇の専用ホールが設置されている。
- 大都市（横浜市、名古屋市、大阪市）を中心に音楽又は演劇の専用ホールが設置されている。

政令指定都市の文化ホールの規模



規模		1,500席未満	1,500～2,000席未満	2,000席以上	計
音楽専用ホール	公共	1	5	4	10
	民間	0	1	0	1
演劇専用ホール	公共	3	1	2	6
	民間	6	0	0	6
多目的ホール	公共	16	11	13	40
	民間	8	2	5	15
計		34	20	24	78
平均ホール数		1.8	1.0	1.3	4.1

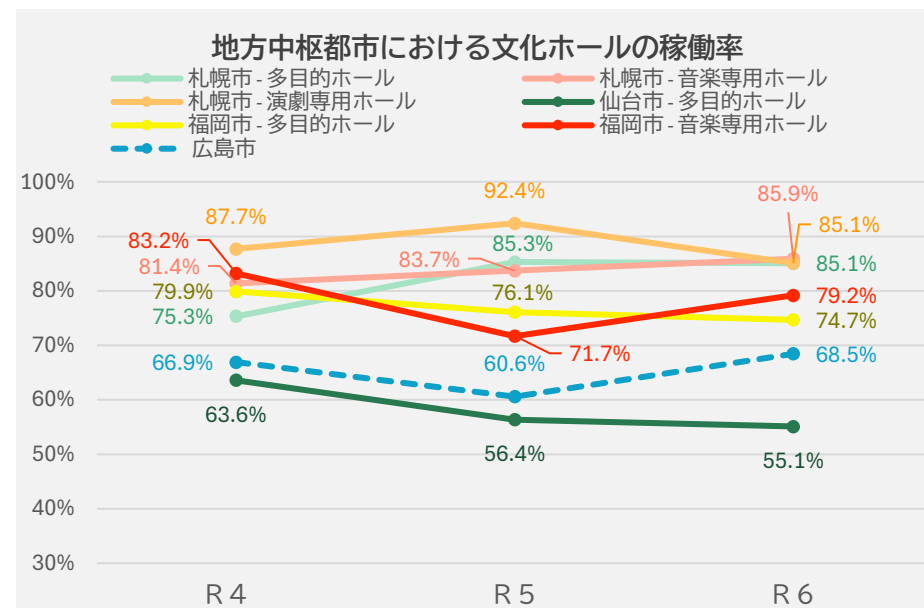
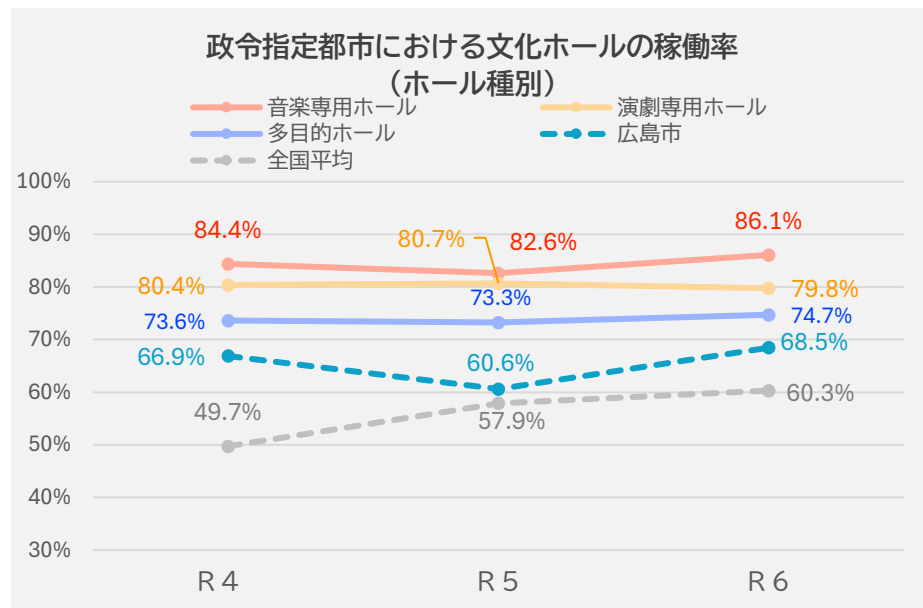
※ 本市文化ホールを除く

本市を含む政令指定都市における文化ホールの数を規模別に整理

一般的に市民利用や演劇利用等では1,500席未満のホールが、クラシックコンサート等では1,500～2,000席未満のホールが、大規模なホールコンサート等では2,000席以上のホールが使われることが多いため、このように区分

- 地方中枢都市である札幌市、仙台市及び福岡市では、1,500席未満、1,500～2,000席未満、2,000席以上のホールがそれぞれ設置されており、本市も同じように設置している。
- 音楽専用ホールについては、大半が公共設置によるものであり、また、1,500席以上の割合が非常に高い。
- 演劇専用ホールは公共・民間が同じ数（6館）であり、1,500席未満のホールが多くを占めている。

(1) 文化ホールの稼働率 ※公共のみ



3 か年平均稼働率	音楽専用ホール	演劇専用ホール	多目的ホール
政令指定都市	84.4%	80.3%	73.9%
札幌市	83.7%	88.4%	81.9%
仙台市	—	—	58.3%
福岡市	78.0%	—	76.9%
広島市	—	—	65.3%
全国平均	56.0%		

本市を除く政令指定都市（平均）における文化ホール（公共のみ）及び地方中枢都市（札幌市、仙台市、本市、福岡市）における文化ホール（公共のみ）の稼働率の状況をそれぞれ整理

- 本市を除く政令指定都市の稼働率は全国平均と比べ非常に高く、とりわけ音楽、演劇専用ホールの稼働率が高い。
- 本市の稼働率は政令指定都市の多目的ホールと比較して低い状況にある。
- 本市の稼働率は仙台市より高いものの、札幌市及び福岡市には及ばない。
- 札幌市及び福岡市はいずれのホールも70%超の高い稼働率を有している。

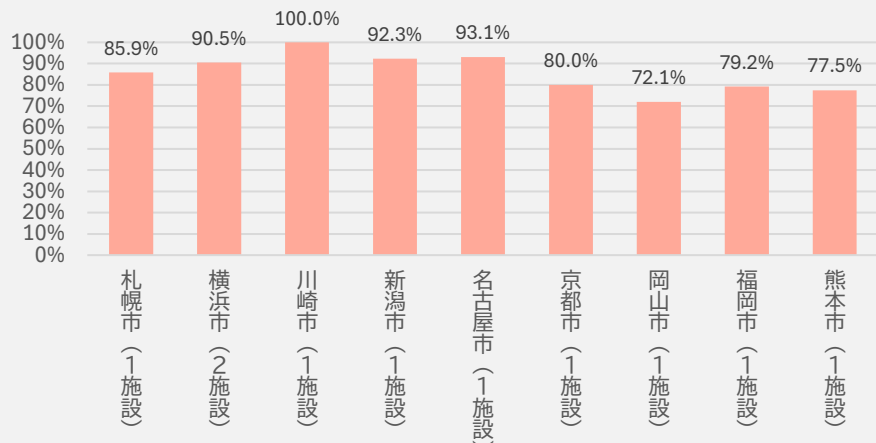
※有効回答が得られなかった施設を除く

03 政令指定都市との比較

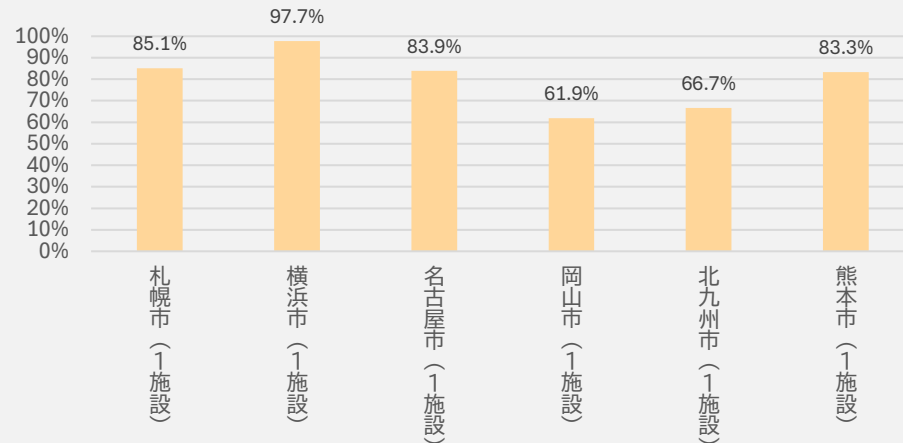
3. 稼働率について

(2) 政令指定都市における文化ホールの稼働率（ホール種別）※公共のみ

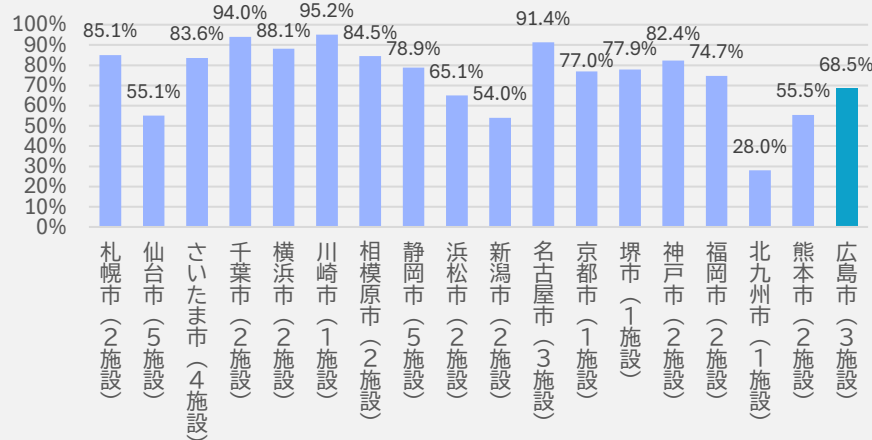
音楽専用ホールの稼働率（令和6年度）



演劇専用ホールの稼働率（令和6年度）



多目的ホールの稼働率（令和6年度）



本市を含む政令指定都市における文化ホール（公共のみ）の令和6年度の稼働率の状況を整理

【音楽専用ホール】

- 全ての施設において70%超の高い稼働率を有している。

【演劇専用ホール】

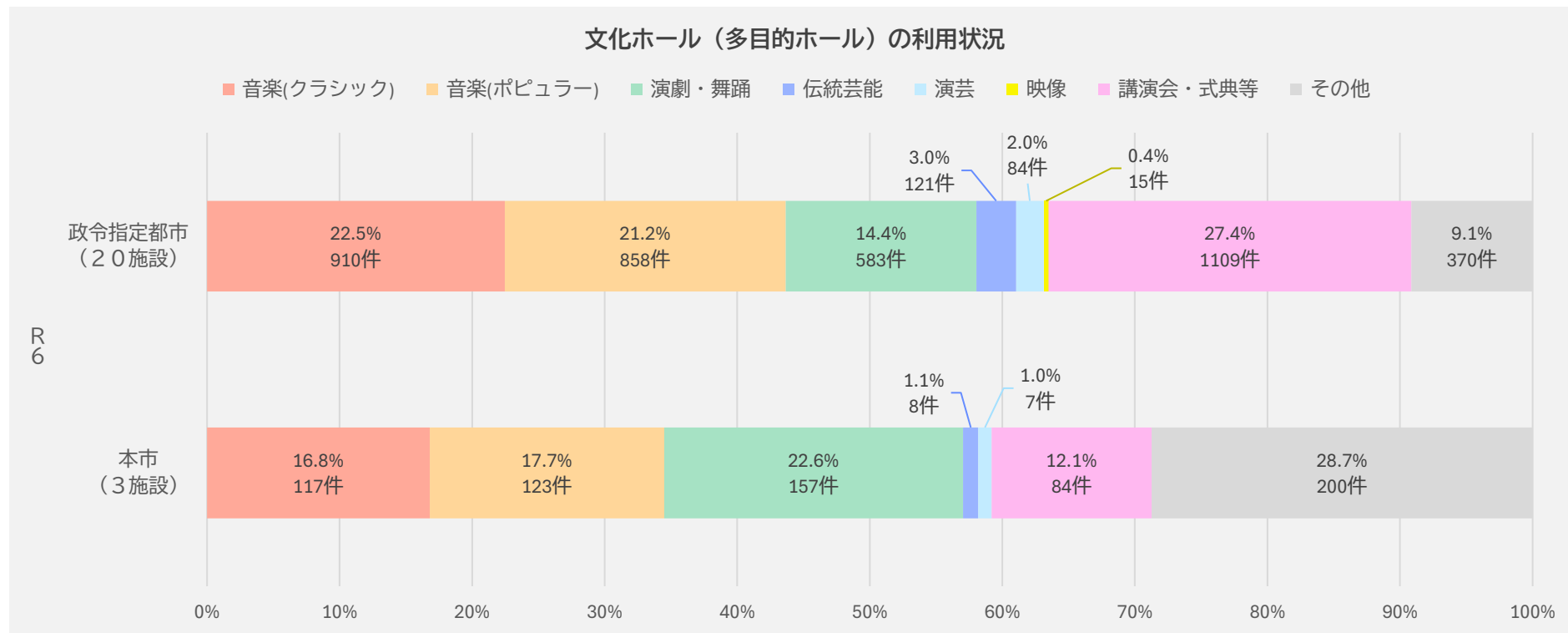
- 岡山市と北九州市は60%程度だが、その他の都市（札幌市、横浜市、名古屋市、熊本市）については80%超の高い稼働率を有している。

【多目的ホール】

- 大都市圏を中心に70%超の高い稼働率を有している。

※有効回答が得られなかった施設を除く

(1) 政令指定都市における文化ホール（多目的ホール）の利用状況 ※公共のみ



※有効回答が得られなかった施設を除く

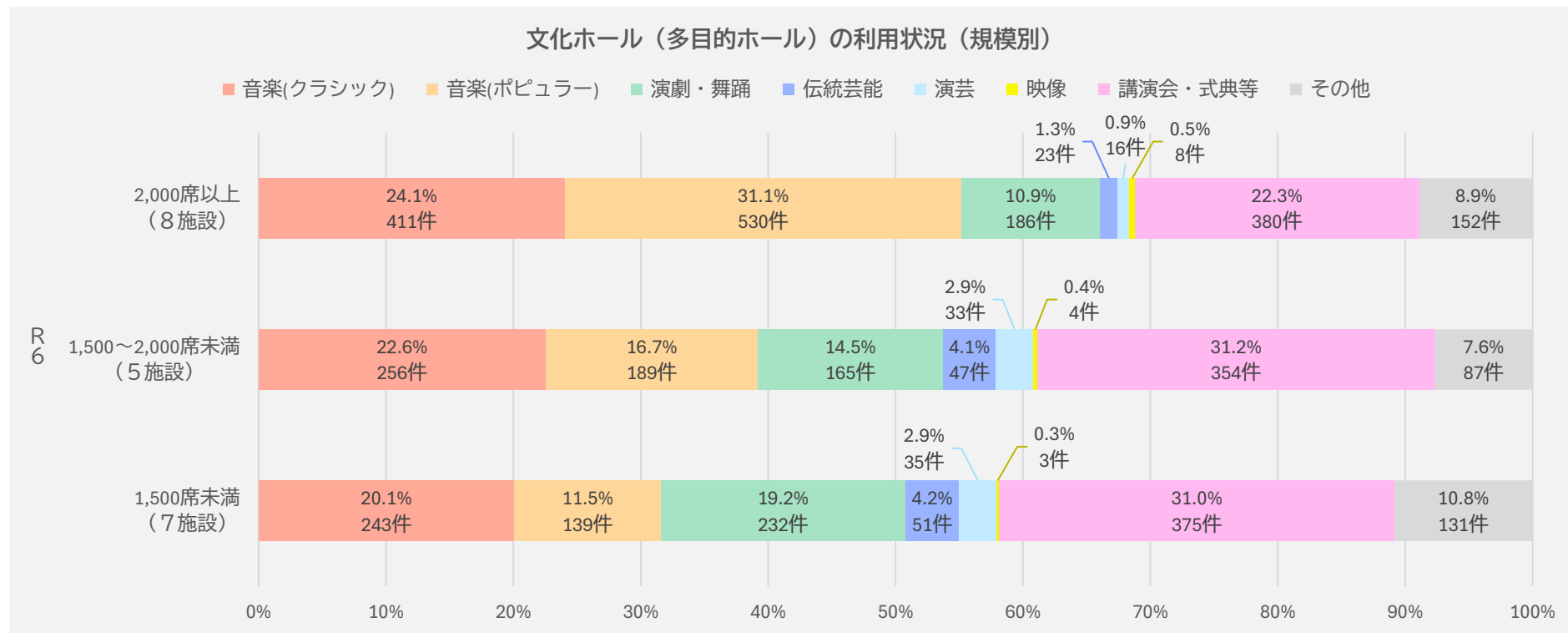
本市を除く政令指定都市における多目的ホール（公共のみ）の令和6年度の利用状況を整理

- 政令指定都市における多目的ホールの利用は、講演会・式典等、音楽（クラシック）、音楽（ポピュラー）の順に割合が高い。
- 本市の文化ホールは政令指定都市と比較すると明らかに講演会・式典等の割合が低い。

03 政令指定都市との比較

4. 利用状況について

(2) 政令指定都市における文化ホール（多目的ホール）の利用状況（規模別）※公共のみ

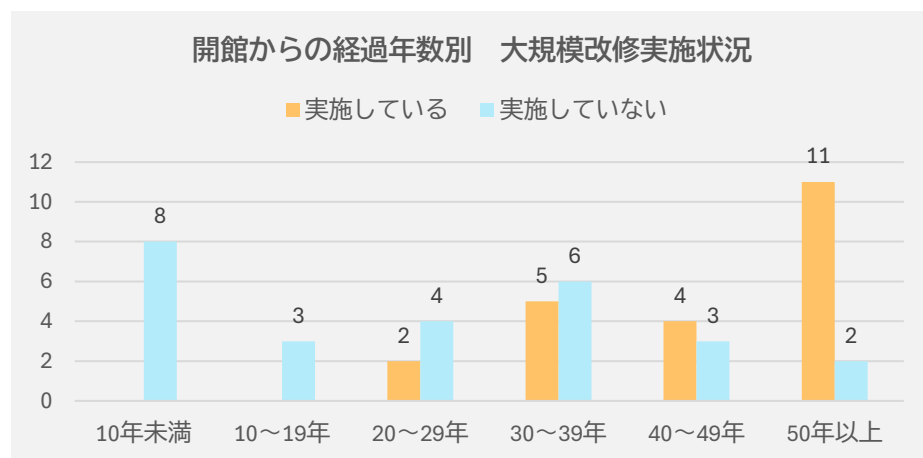
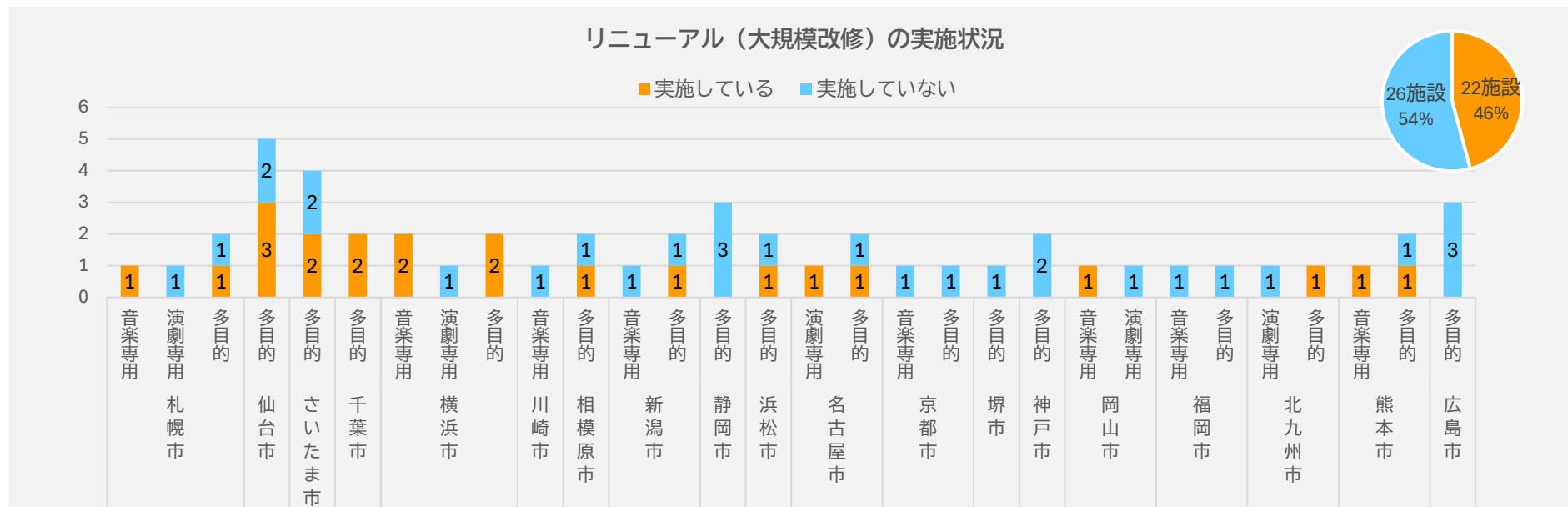


※有効回答が得られなかった施設を除く

本市を除く政令指定都市における多目的ホール（公共のみ）の令和6年度の利用状況を施設規模別に整理

- 2,000席以上のホールについては、音楽（クラシック・ポピュラー）の割合が高い。
- 1,500～2,000席未満のホールは音楽（クラシック・ポピュラー）の割合が高いが、音楽（ポピュラー）に関しては、2,000席以上の約半分の割合である。
- 1,500席未満のホールは、音楽（クラシック）と演劇・舞踊が20%程度と同程度であり、演劇・舞踊は比較的小規模なホールでの利用割合が高くなっている。
- 2,000席以上のホールを除き、講演会・式典等が30%程度と利用割合が高い。

(1) 政令指定都市における文化ホールのリニューアルの実施状況 ※公共のみ



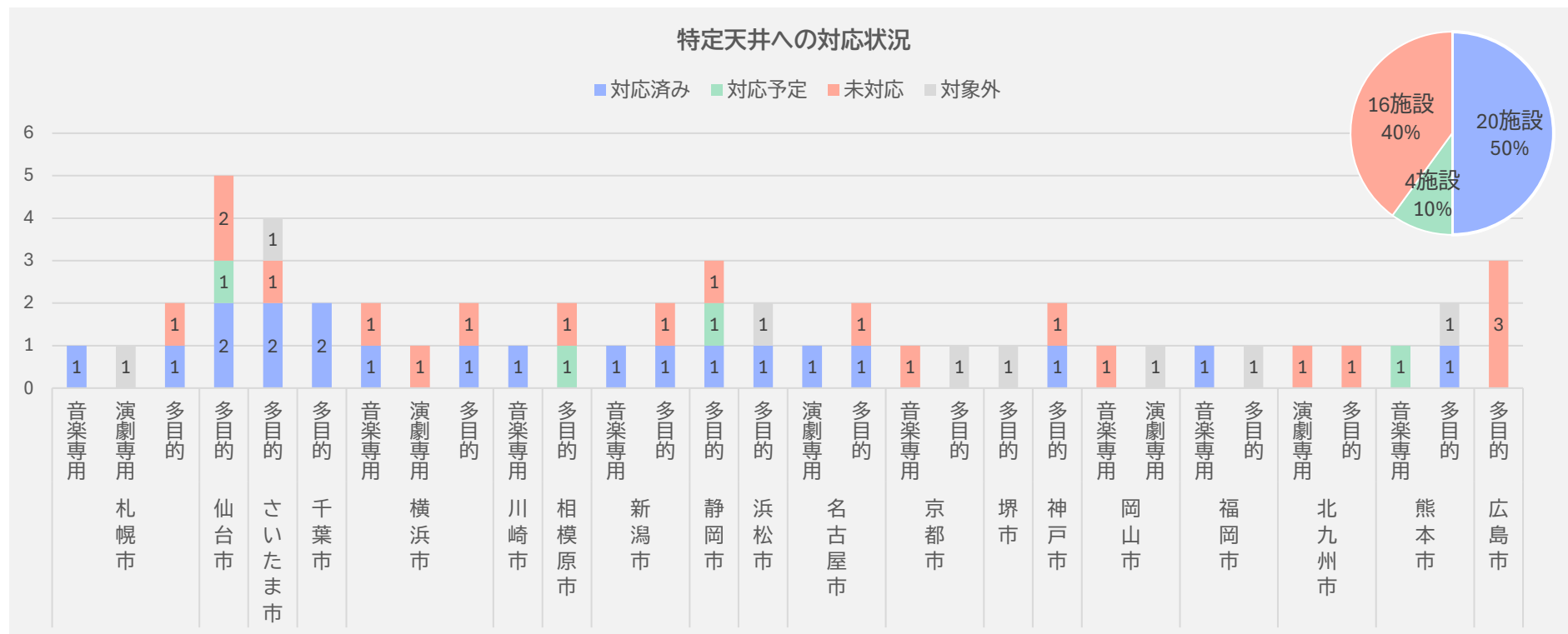
※本市文化ホールを除く

※有効回答が得られなかった施設を除く
※円グラフは本市文化ホールを除く

本市を含む政令指定都市における文化ホールのリニューアル（大規模改修）の実施状況を整理

- 約半数の施設でリニューアル（大規模改修）を実施している。
- リニューアル（大規模改修）を実施した施設の多くが、開館から30年以上経過している。

(2) 政令指定都市における文化ホールの特定天井への対応 ※公共のみ



※有効回答の得られなかった施設を除く

※特定天井の問題を解消した上で設置した施設については、対象外としている

※円グラフは本市文化ホール及び対象外の施設を除く

本市を含む政令指定都市における文化ホールの特定天井（脱落によって重大な危害が生じる恐れがある吊り天井のことであり、具体的には、6m超の高さにある200㎡超の質量が2kg/㎡を超えている吊り天井を指す。）への対応の実施状況を整理

- 政令指定都市の半数の施設は特定天井への対応が行われている。

04

広島県内での比較

1. 施設の規模及びその配置状況について

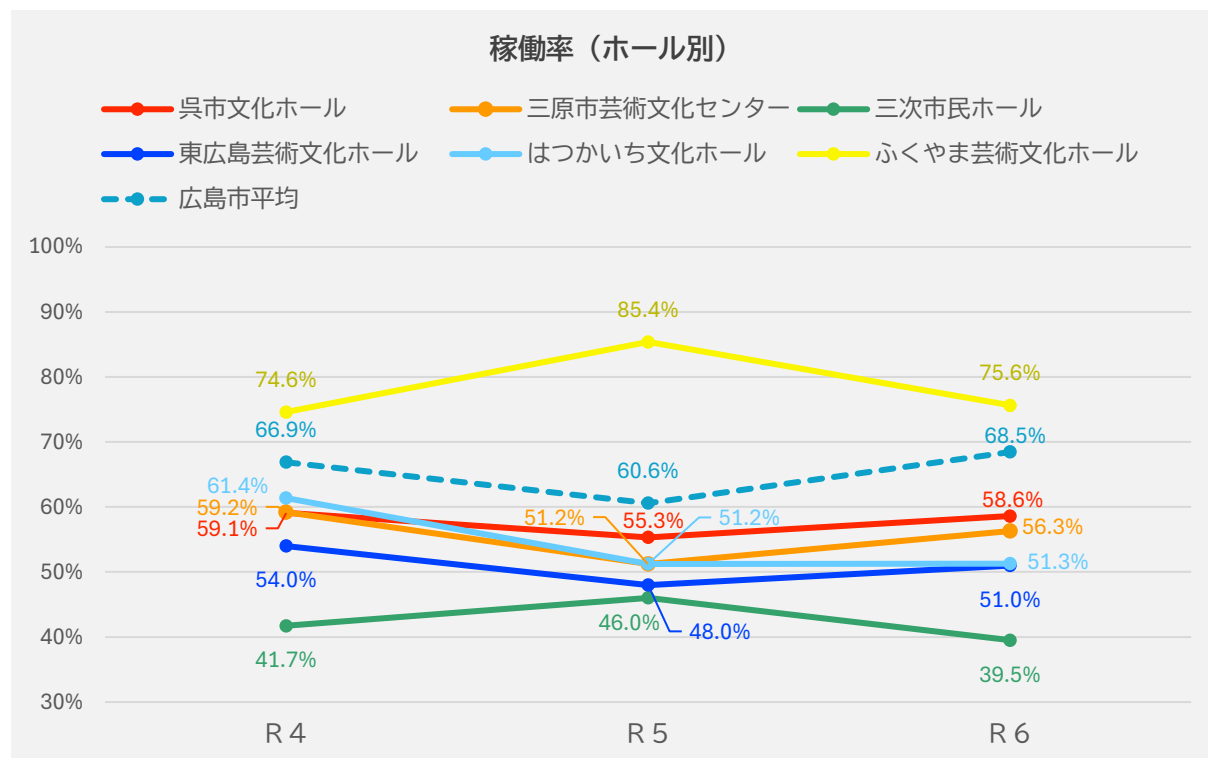


ホール数（6施設）	
1,500席未満	4
1,500～2,000席未満	1
2,000席以上	1

- 広島県内のホールは沿線沿いに設置されており、東西南北の各エリアにバランスよく配置されている。
- その中でも広島市に集中して様々な規模の施設が複数設置されている。

- 本市及び広島県内のホールは、多目的ホールのみであり専用ホールは設置されていない。
- 広島県内の6市においては、それぞれ1館ずつ多目的ホールがあり、福山市（ふくやま芸術文化ホール）は2,000席以上、呉市（呉市文化ホール）が1,500～2,000席未満のホールであり、それ以外の4館は1,500席未満のホールである。

広島県内における文化ホールの稼働率

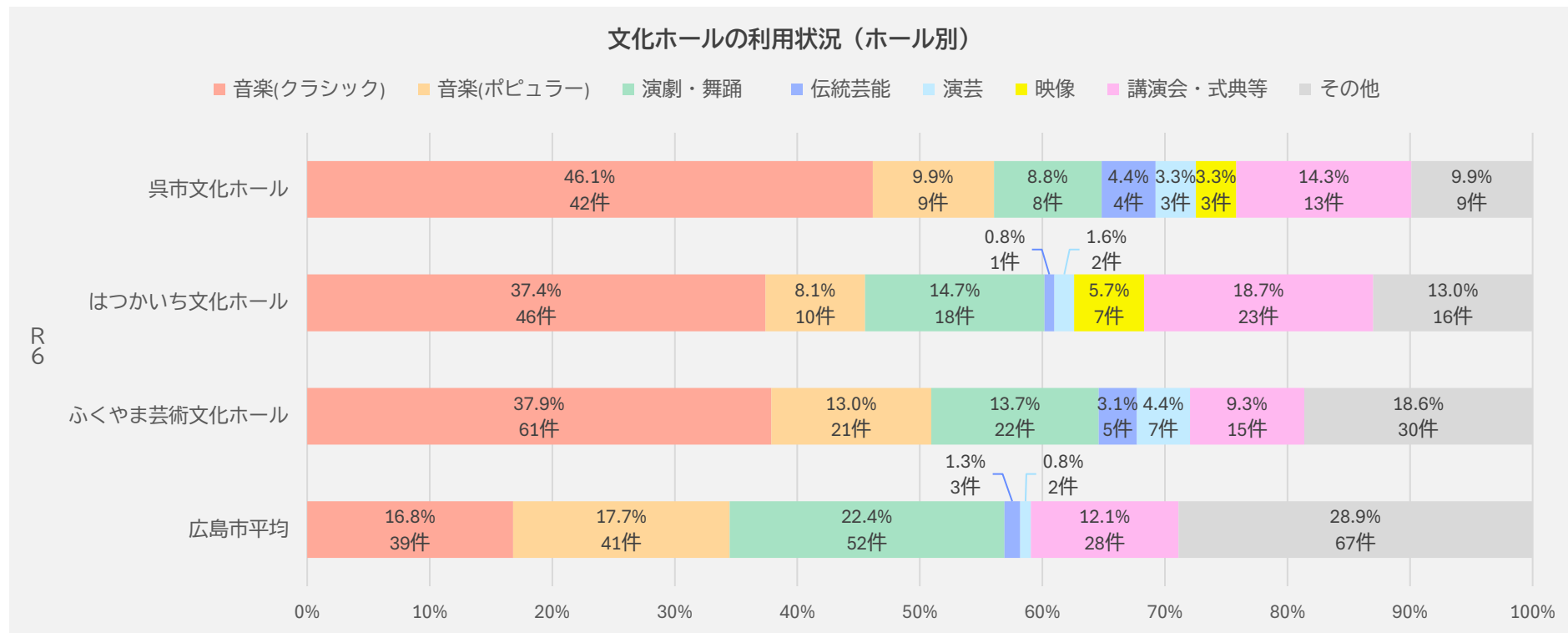


平均稼働率（3か年）	
呉市文化ホール (1,802席)	57.7%
三原市芸術文化センター (1,209席)	55.6%
三次市民ホール (1,006席)	42.4%
東広島芸術文化ホール (1,206席)	51.0%
はつかいち文化ホール (1,095席)	54.6%
ふくやま芸術文化ホール (2,003席)	78.5%
全体平均稼働率（3か年）	
56.6%	
広島市内文化ホール平均稼働率（3か年）	
65.3%	

広島県内における文化ホールの稼働率の状況を整理

- 広島県内の文化ホールの平均稼働率は56.6%と、本市内の文化ホールの平均稼働率よりも10%程度低くなっている。
- ふくやま芸術文化ホールは県内で突出して稼働率が高い。

広島県内における文化ホールの利用状況（ホール別）



※三原市芸術文化センター、三次市民ホール、東広島芸術文化ホールは有効回答が得られなかったため除く

広島県内の文化ホールの令和6年度の利用状況を整理

- 県内の文化ホールの利用について、音楽系での利用の合計が約半数を占めており、特に音楽（クラシック）利用割合が最も高い。
- 県内の文化ホールを本市文化ホールと比較すると、音楽（クラシック）の利用割合が高く、音楽（ポピュラー）や演劇・舞踊の割合が低い。

広島県内における文化ホールのリニューアルの実施状況及び特定天井への対応

市	施設名	開館年	開館からの 経過年数	建替え予定の 有無	大規模改修の 実施状況	大規模改修予定 の有無	特定天井への 対応状況
呉市	呉市文化ホール	1989年	36年	無	実施していない	有	未対応
三原市	三原市芸術文化センター	2007年	18年	無	—	有	—
三次市	三次市民ホール	2014年	11年	無	実施していない	無	対象外
東広島市	東広島芸術文化ホール	2016年	9年	無	実施していない	有	対象外
廿日市市	はつかいち文化ホール	1997年	28年	無	実施していない	有	未対応
福山市	ふくやま芸術文化ホール	1994年	31年	無	実施していない	有	未対応

※特定天井の問題を解消した上で設置した施設については、対象外としている

広島県内における文化ホールのリニューアル（大規模改修）及び特定天井への対応状況を整理

- 全ての施設において建替えが予定されていない。
- 大規模改修については、有効回答のなかった三原市芸術文化センターを除く全ての施設で実施されていないが、三次市民ホールを除く全ての施設で今後予定されている。
- 特定天井への対応について、有効回答のなかった三原市芸術文化センター及び対象外の施設を除く全ての施設が未対応であった。

05 文化ホール調査まとめ

まとめ1 設置数と規模

政令指定都市との比較（P. 14～15）

- ・本市の文化ホールの数は政令指定都市の平均を下回っており、同じ地方中枢都市である札幌市、仙台市及び福岡市と比べても少ない状況にある。
- ・本市は多目的ホールのみ設置しているが、同じ地方中枢都市である札幌市及び福岡市は音楽と演劇の専用ホールが設置されている。また、仙台市においては、音楽専用ホールの設置に向けて現在検討を行っている。
- ・音楽専用ホールは、10都市において設置されており、このうち民間による設置は大阪市の1館のみである。また、その規模については、2,000席以上が札幌市、横浜市、新潟市及び岡山市の4市、1,500～2,000席未満が川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、福岡市及び熊本市の6市、1,500席未満が横浜市のみである。
- ・演劇専用ホールは、9都市において公共・民間が同じ数（6館）設置されている。このうち複数設置されているのは名古屋市（3館）及び大阪市（2館）である。また、その規模について、2,000席以上が札幌市、名古屋市の2市、1,500～2,000席未満が岡山市のみ、1,500席未満が横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、福岡市、北九州市及び熊本市の7市である。
- ・多目的ホールは、岡山市を除く全ての都市において設置されており、京都市及び北九州市以外は複数設置されている。また、その規模について、2,000席以上、1,500～2,000席未満、1,500席未満の全ての規模において、それぞれ設置されている都市は仙台市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市及び本市の6市である。

広島県内での比較（P. 22）

- ・県内の6市（呉市、三原市、三次市、東広島市、廿日市市、福山市）にそれぞれ1館のみ設置されており、本市のように複数施設が設置されている都市はない。
- ・県内の文化ホールは全て多目的ホールであり、本市と同じである。
- ・県内の文化ホールは1,500席未満の施設が最も多く設置されている。

05 文化ホール調査まとめ

まとめ2 稼働率と 利用状況

政令指定都市との比較（P. 16～19）

- 本市の文化ホールの稼働率は、政令指定都市の文化ホールの平均を下回っており、同じ地方中枢都市と比べた場合、仙台市より高いものの、札幌市及び福岡市よりは低い状況にある。
- 音楽専用ホールの稼働率について、設置されているいずれの都市も70%超の高い稼働率を有している。
- 演劇専用ホールの稼働率について、岡山市及び北九州市は60%程度であるが、その他の都市（札幌市、横浜市、名古屋市及び熊本市）は80%超の高い稼働率を有している。
- 多目的ホールの稼働率について、大都市圏を中心に70%超の高い稼働率を有している。
- 政令指定都市の文化ホール（多目的ホール）の利用状況については、講演会・式典等（27.4%）が最も多く、次いで音楽（クラシック）（22.5%）、音楽（ポピュラー）（21.2%）の順となっている。一方で、本市の文化ホールの利用状況については、演劇・舞踊（22.6%）が最も多く、次いで音楽（ポピュラー）（17.7%）、音楽（クラシック）（16.8%）の順となっている。これは、令和6年度にミュージカルの長期公演があったことによるものである。

広島県内での比較（P. 23～24）

- 県内の文化ホールの稼働率について、ふくやま芸術文化ホールは78.5%と高い稼働率を有しているが、その他の文化ホールについては、40%～50%台の稼働率であり、本市より低い状況にある。
- 県内の文化ホールの利用状況について、音楽系での利用の合計が約半数を占めており、特に音楽（クラシック）の割合が最も高い。本市文化ホールと比較すると、音楽（クラシック）の利用割合が高く、音楽（ポピュラー）や演劇・舞踊の割合が低い。

05 文化ホール調査まとめ

まとめ3 リニューアル 状況

政令指定都市との比較（P. 20～21）

- 政令指定都市の文化ホールの約半数が大規模改修を実施しており、その多くが開館後30年以上を経過している。なお、本市は大規模改修を実施していない。
- 政令指定都市の文化ホールの半数が特定天井への対応を行っている。なお、本市は特定天井への対応は行っていない。

広島県内での比較（P. 25）

- 県内の文化ホールについて、回答のあった全ての文化ホールで大規模改修を実施していない。なお、開館から20年以上を経過しているのは、呉市（36年）、廿日市市（28年）及び福山市（31年）である。また、特定天井についても、対象外の施設を除き全ての文化ホールで対応を行っていない。